

みずほCustomer Desk Report 2025/05/19号(As of 2025/05/16)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	145.13
TKY 9:00AM	145.58	1.1192	162.74	GBP/USD	AUD/USD
SYD-NY High	146.08	1.1219	163.07	1.3303	0.6404
SYD-NY Low	144.93	1.1132	162.50	1.3333	0.6436
NY 5:00 PM	145.68	1.1167	162.53	1.3252	0.6389
	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	42,654.74	331.99	日本2年債	0.7100%	0.0000%
NASDAQ	19,211.10	98.78	日本10年債	1.4500%	▲0.0300%
S&P	5,958.38	41.45	米国2年債	3.9910%	0.0376%
日経平均	37,753.72	▲ 1.79	米国5年債	4.0690%	0.0214%
TOPIX	2,740.45	1.49	米国10年債	4.4434%	0.0129%
シカゴ日経先物	38,035.00	225.00	独10年債	2.5860%	▲0.0390%
ロンドンFT	8,684.56	50.81	英10年債	4.6390%	▲0.0170%
DAX	23,767.43	71.84	豪10年債	4.4610%	▲0.0790%
ハンセン指数	23,345.05	▲ 108.11	USDJPY 1M Vol	10.79%	▲0.32%
上海総合	3,367.46	▲ 13.36	USDJPY 3M Vol	10.71%	▲0.14%
NY金	3,187.20	▲ 39.40	USDJPY 6M Vol	10.55%	0.05%
WTI	62.49	0.87	USDJPY 1M 25RR	▲2.24%	Yen Call Over
CRB指数	296.08	0.22	EURJPY 3M Vol	9.12%	
ドルインデックス	101.09	0.21	EURJPY 6M Vol	9.52%	0.15%

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
5月16日	08:50	日 GDP(季調済/前期比)・速報	1Q -0.2%	-0.1%
	08:50	日 GDP(年率/季調済/前期比)・速報	1Q -0.7%	-0.3%
	08:50	日 GDPデフレーター(前年比)・速報	1Q 3.3%	3.2%
	21:30	米 住宅着工件数	4月 1,361k	1,363k
	21:30	米 建設許可件数・速報	4月 1,412k	1,450k
	23:00	米 ミシガン大学消費者マインド・速報	5月 50.8	53.4
	23:00	米 ミシガン大学1年期待インフレ率・速報	5月 7.3%	6.5%

【本日の予定】

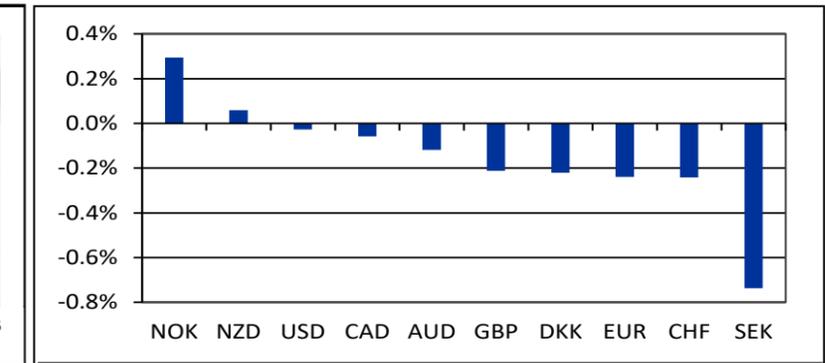
Date	Time	Event	予想	前回
5月19日	11:00	中 小売売上高(前年比)	4月 5.8%	5.9%
	11:00	中 鉱工業生産(前年比)	4月 5.7%	7.7%

東京	東京時間のドル円は145.58レベルでオープン。オープン後からドル売り円買いが優勢で、仲値通過後には一時144.97まで値を下げる。その後日本株が上昇する流れにドル円も持ち直したが、145円台前半では上値重く推移し、145.22レベルで海外時間へ渡った。
ロンドン	欧州時間のドル円は145.22レベルでオープン。新規材料のない中で、アジア時間のドル売りが落ち着き、全般的ドルが買い戻される展開。145円台半ばまで値を戻し、145.65レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	NY時間のドル円は、145.65レベルでオープン。朝方に発表された米4月住宅着工件数は予想範囲内で反応は限定的。続いて発表された5月ミシガン大学消費者マインド(速報値)はヘッドラインが予想を下回る一方で、1年先のインフレ期待が7.3%と1981年以来的高水準となり、米金利が上昇し、ドル円は146.08まで戻す。終盤は米格付会社による米国債の格下げが発表され、やや売りが強まったものの、週末のクロス間際であったことから長くは続かず、145.68レベルでクロス。一方、ユーロドルは1.1195レベルでオープンし、米ミシガン大学消費者マインドの結果を受けたドル買いに、1.1132まで下落。午後は週末を控えた調整や、米格下げニュースでやや値を戻し、1.1167レベルでクロス。

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	143.00-145.80	1.1150-1.1300	160.00-164.00

【マーケット・インプレッション】

先週末、米大手格付会社が米国信用格付けについて最上位からの引き下げを発表、米国資産売りが強まりやすくなか本日のドル円は軟調推移を予想する。今次格下げは時間の問題とされていただけに急激にドル安が進行するとは想定しがたいが、夏頃にはトランプ米大統領による減税案の発表が見込まれるところ、米国経済に悪影響を与えることは必至。Fedによる利下げペースの減速やリスクオフが意識され、下落局面では押し目買いも入るとみるものの、貿易交渉の進展なども見られないもとはドルの上値は重かる。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。